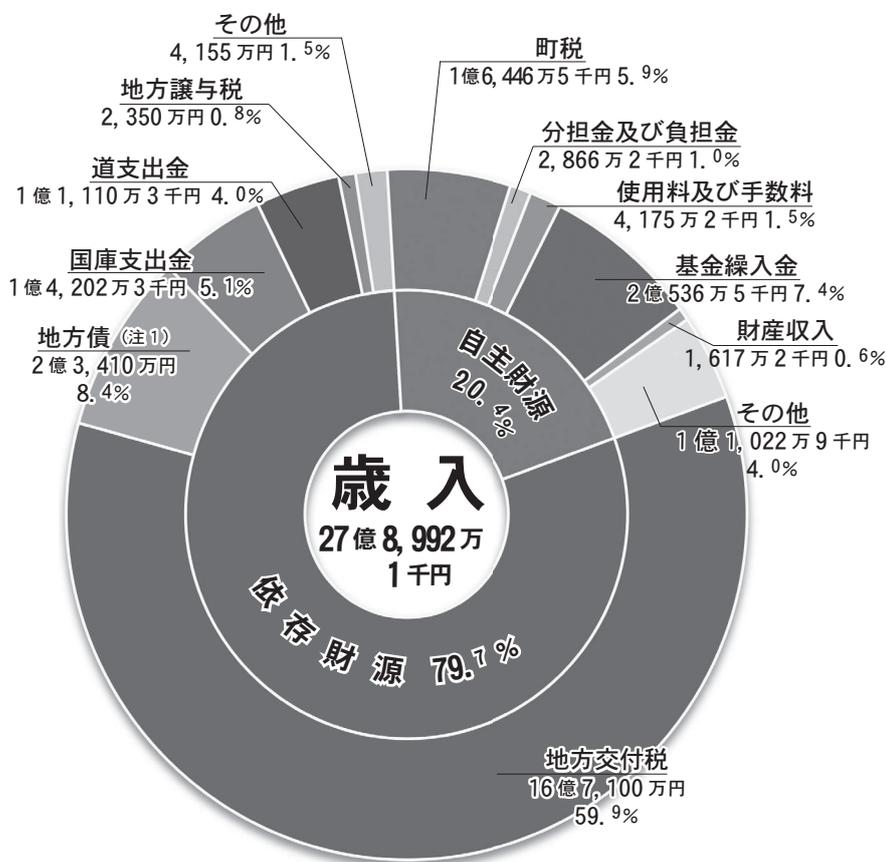


平成29年度 まちの予算の概要

一般会計 27億8,992万1千円 (前年度比 3.7%、9,867万6千円増)
 特別会計 7億3,661万4千円 (前年度比 4.8%、3,387万3千円増)
 総 額 35億2,653万5千円 (前年度比 3.9%、1億3,254万9千円増)

(単位：千円)

会計別	区分	平成29年度 予算額	平成28年度 当初予算額	比較		備考
				増減額	増減率(%)	
一	般 会 計	2,789,921	2,691,245	98,676	3.7	特別会計繰出金 313,978
特 別 会 計	簡 易 水 道 事 業	185,189	178,207	6,982	3.9	一般会計繰入金 89,774
	国民健康事業 勘定	202,233	189,011	13,222	7.0	" 84,429
	保険事業 直診 勘定	74,663	73,187	1,476	2.0	" 17,716
	下 水 道 事 業	63,638	60,921	2,717	4.5	" 53,412
	介護福祉サービス事業	44,463	39,587	4,876	12.3	" 18,887
	産業交流雇用対策推進事業	128,169	124,045	4,124	3.3	" 33,246
	後期高齢者医療	38,259	37,783	476	1.3	" 16,514
特別会計合計		736,614	702,741	33,873	4.8	" 313,978
合 計		3,526,535	3,393,986	132,549	3.9	



(注1) 地方債の臨時財政対策債は100%、過疎対策事業債は70%、辺地対策事業債は80%が償還時に地方交付税で補てんされます。

一般会計予算の概要

平成29年度予算は、第5次積丹町総合計画のまちづくり目標に沿った、公共・行政サービス水準の維持による町民生活の安全・安心の確保や町民福祉、地域経済・産業の活性化、地域振興の観点から、憩いの広場整備事業、歯科診療所訪問診療用備品整備、海洋センター高度利用関連事業、入舸地区地籍調査事業、島武意通り線道路改良事業、余別地区防災避難路等整備事業、有機農業推進事業などを計上し、前年当初予算比9,867万6千円、3.7%増の27億8,992万1千円となりました。

また、地方交付税の縮減や歳入の不確実要因などにより、財源に不足が生じる厳しい予算編成を強いられる結果となったことから、基金積立金の一部取崩しを行います。

(目的別歳出)

(千円)

区分	歳出額	構成比	前年度比
議会費	60,395	2.2%	14.5%
総務費	891,838	32.0%	8.7%
民生費	456,384	16.4%	11.1%
衛生費	152,084	5.5%	4.5%
農林水産業費	173,954	6.2%	21.8%
商工費	72,360	2.6%	▲1.1%
土木費	234,233	8.4%	▲25.9%
消防費	195,320	7.0%	7.4%
教育費	206,037	7.4%	4.1%
公債費	335,531	12.0%	▲0.7%
その他	11,785	0.4%	▲2.5%
合計	2,789,921	100%	3.7%

歳出

投資的事業は、国庫補助事業などの採択要望に努める一方、過疎対策事業債、辺地対策事業債など、良質な起債の活用に留意したほか、7つの特別会計の運営収支「赤字の累積化回避」を優先するため、3億1,397万8千円（前年度比179万円、0.6%増）、を繰出金として計上しました。

平成29年度の歳入財源確保の見通しについては、国の公共事業、社会保障、人口減少対策等の政策予算の見直しや自治体への情報不足、地方負担の不確実要素が例年になく多い年度となっています。

一般会計の歳出予算のうち、人件費、公債費、扶助費などの義務的経費と、消防組合・衛生組合・団体等への負担金・補助金と、特別会計への繰出金の合計だけで、国からの地方交付税見込額の16億7,100万円を超える約18億3千万円と、町の活性化や新たな振興策のための財源に余裕がない財政構造が続いています。基金の取崩しの縮減に向けた財政運営に努めていきます。

(注2)

平成29年度に予算を繰り越して実施する事業

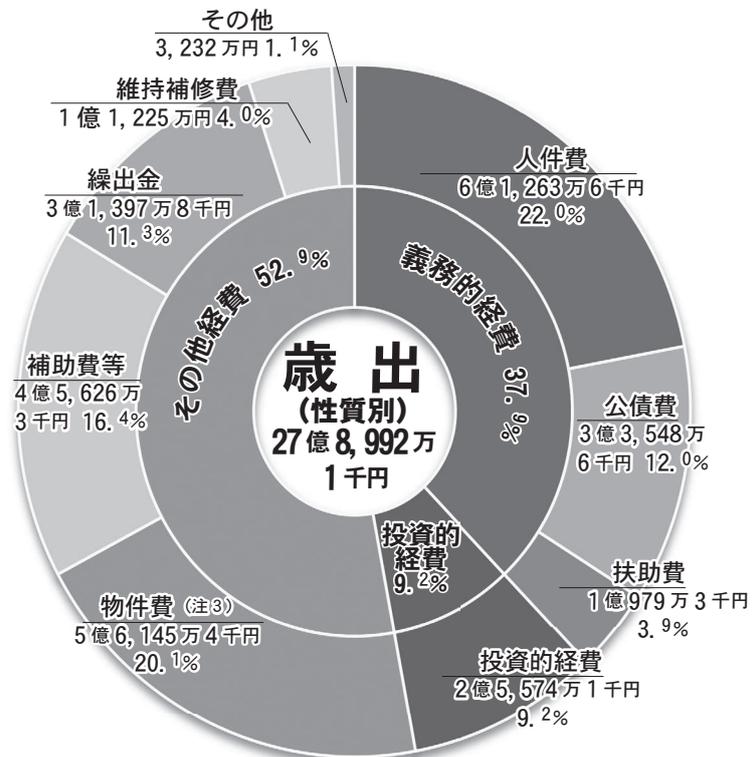
(千円)

事業名	事業費
① 社会保障・税番号制度システム整備事業	181
② 臨時福祉給付金（経済対策分）給付事業	3,700
③ 公営住宅長寿命化改善事業	113,600
合計	117,481

(注2) この事業予算は、29年度予算とは別に財源が前年度から繰越留保されています。

歳入

町税1億6,446万5千円（前年度比323万8千円、2.0%増）地方交付税は普通交付税15億1,100万円、特別交付税1億6,000万円、合計16億7,100万円（前年度同額）、地方債は臨時財政対策債7,200万円、過疎対策事業債1億1,720万円、辺地対策事業債1,840万円、公営住宅建設事業債260万円、緊急防災・減災事業債2,390万円、合計2億3,410万円（同1,840万円、8.5%増）を、基金繰入金2億536万5千円（同3,756万8千円、22.4%増）などを計上しました。



(注3) 物件費：賃金、旅費、需用費、委託料等消費的性質の経費



平成29年度予算 主な事務・事業

町づくりの指針である、第5次総合計画（平成24年度～平成33年度）の5つの基本目標に沿った、平成29年度の主な事務・事業を紹介します。

（注）（ ）は、国・道補助金等又は地方債

1 豊かな郷土で自ら学び、地域文化を育むまちづくり『生涯学習』

学校教育推進事業 826万8千円（560万円）
外国語指導助手や特別教育支援員の配置等。

給食センター給食配送容器更新事業 85万円
経年劣化による給食配送容器の更新。

屋内運動場非構造部材耐震点検調査事業 350万円
町内全校の屋内運動場の照明・天井材などの非構造部材の耐震点検。

海洋センターを活用した地域コミュニティの再生に関するモデル事業 350万円（250万円）
海洋センターの多目的高度利用を目指すことを目的とした各種事業の実施。

2 地域ぐるみでつくる健康、支えあう福祉のまちづくり『町民福祉』

憩いの広場（公園）整備事業 3,350万円（3,340万円）
憩いの広場の大型遊具等の整備。

地域支援事業 4,370万4千円（2,917万2千円）
・居宅介護要支援者等に対する福祉サービスの実施及び地域ケア体制の整備。

妊産婦安心・出産支援事業 76万9千円（11万5千円）
出産可能な産科医療機関までの交通費等について、妊産婦の経済的負担を軽減。

歯科診療所訪問診療用備品整備事業 210万円
通院困難な患者に対する地域や施設等への訪問診療用備品の整備。

3 自然と共生し、安全で快適な暮らしを実現するまちづくり『防災・生活基盤・環境』

島武意トンネル改修事業 3,230万円（3,221万円）
トンネル利用者の安全な通行を図るための恒久的な改修。（本年度で完成予定）

橋梁長寿命化修繕事業 2,029万9千円（2,010万円）
町橋梁長寿命化修繕計画に基づき老朽化した竹谷橋・日本橋・学校橋橋梁の補修。

島武意通り線道路改良事業 1,450万円（1,445万円）
町道島武意通り線の拡幅改良工事・用地買収。

地籍調査事業 1,418万2千円（812万4千円）
入舸町市街地の地籍調査を実施。

水道老朽管更新事業 4,896万円（4,883万4千円）
来岸地区の老朽配水管更新工事（28年度継続工事）、婦美地区の老朽配水管更新実施設計。

合併処理浄化槽整備事業 2,319万円（2,154万円）
個人合併処理浄化槽と事業所用合併処理浄化槽の設置費への助成。

4 産業が連携し、豊かな地域資源をまもり活かすまちづくり『産業振興』

生きた土づくり有機農業推進事業 281万6千円（280万円）
酪農堆肥の導入や家畜ふん処理施設整備の補助。

国際観光化推進事業 180万2千円
小樽港クルーズPR用配布品等の購入や個人旅行者を対象とした台湾、香港の旅行雑誌への広告掲載。

6次産業化推進事業 106万3千円
スノーシューやユニむきセットの購入、ガイドブックの作成、黒ニンニク加工用温蔵庫の購入。

一次産業振興対策事業 426万9千円
鳥獣対策、海獣対策、密漁防止対策等、一次産業の振興に資する各種事業を実施。

5 みんなが主役、未来へつなぐ協働のまちづくり『コミュニティ・行財政』

ふるさと納税推進事業 4,276万3千円（4,200万円）
町の知名度向上と基幹産業の活性化を目的に、寄附者に対し地元特産品等を返礼品として贈呈。

地域おこし協力隊推進事業 2,810万7千円
地域おこし協力隊6名、定住支援員1名を配置。

地域間交流推進事業 140万円
町地域間交流推進協議会が実施する高知県香美市との交流事業への助成。

移住定住推進事業 46万円
平成29年11月に開催される「北海道暮らしフェア2017」（東京都）に参加し、情報提供と移住定住相談の実施。